

イメージアップ経費による地域貢献

青森県土木施工管理技士会

株式会社 脇川建設工業所 工事部

工事主任

松 下 哲 也

1. 適用工種

ケーソン製作工事におけるイメージアップ経費による地域貢献として、製作場所付近の荷捌き所の排水溝がヘドロ等で異臭を放っていた。荷捌き所は漁獲された水産物を陸揚げし、荷作り、販売、出荷作業が行われる場所として相応しい環境でなかったため、地元漁業組合長と打合せをし、ヘドロ除去作業を行った。

荷捌所横	
VS側溝400	L=55.0m
荷捌所前	
VS側溝250	L=79.6m
荷捌所横	
落ぶた式側溝300	L=60.0m

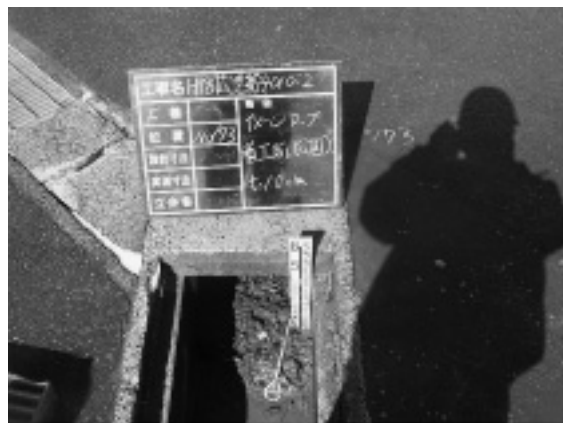


写真-1 排水溝清掃前

2. 改善提案

当漁港は、環境・衛生管理型漁港に指定されている漁港であり、その為には「漁港の環境向上」、「作業環境の清潔保持」、「水産物の鮮度保持」を実現する必要があるが、適切に機能するよう、次の6つの分野について整備する必要がある。

- ① 漁港水域の環境保全
- ② 水・氷供給、排水処理システムの整備
- ③ 廃棄物処理システムの整備
- ④ 漁港全体の合理的なゾーニング
- ⑤ 陸揚げ・出荷時作業形態の適正化
- ⑥ 個別の施設・空間形態の適正化

ヘドロ除去作業を行った場所は、荷捌き・販売・荷作り・出荷作業が行われる場所としては、適切でないことから⑤陸揚げ・出荷時作業形態の適正化として使用後の排水の排出経路に改善の余地が見られる。



写真-2 排水溝清掃状況

3. 従来工法の問題点

ヘドロ除去作業を行っている時に気づいた事は、従来のコンクリート製品を使用しているため、苔・藻等が繁殖し水流の妨げになっており、また、勾配も緩すぎる。地元漁師と話してみると、昭和40年代から漁港を拡大していったが、当時は環境・衛生管理型漁港に指定されていなかったのか、その時々には排水計画を行った説がある。逆勾配の排水溝がそれを物語る。

4. 工夫・改善点

使用後の排水が港内に排水されている点を考慮し、排出経路の改善、また、苔・藻等が繁殖しないような何らかのコーティングを施した排水溝を使用して⑤陸揚げ・出荷時作業形態の適正化に努める事が必要である。

5. 効果

ヘドロによる異臭は無くなった。

イメージアップとしては、地域漁民及び組合長から感謝の言葉をいただいたので地域へ貢献をすることができた。